

令和4年度青森市子ども会議活動報告会

- 1 日 時 令和5年3月19日（日） 9時30分～12時30分
（活動報告会：11時00分～11時30分）
- 2 場 所 青森市役所 本庁舎 1階サードプレイス・3階会議室
- 3 出席者 子ども会議委員16名、子どもサポーター4名、事務局5名
- 4 活動内容 ・令和4年度青森市子ども会議活動報告会
（1）開会
（2）市長あいさつ
（3）令和4年度青森市子ども会議活動報告
（4）卒業委員から後輩委員へのメッセージ
（5）後輩委員から卒業委員への感謝の言葉
（6）市長からの感想
（7）閉会
・今年度の活動を振り返って

5 開催概要

ついに今年1年間の活動の集大成である活動報告会です。昨年度に引き続き、本庁舎1階サードプレイスにて開催しました。

開会

中学生委員の司会進行により活動報告会が始まりました。はじめに市長からごあいさつをいただきました。



市長あいさつ

みなさん、この1年間本当に活動お疲れさまでした。「青森市の〇〇をはっしん！」というテーマのもとに、Instagramを活用した青森市の発信や、2年ぶりに開催した青森ねぶた祭での子どもの権利普及啓発活動、さらには、新型コロナ禍を踏まえた他都市とのオンライン交流、スポーツイベントやトークイベントの開催など、去年よりもさらにパワーアップしたたくさんの活動をしてくれたと聞いています。青森市を盛り上げてくださっている子ども会議のみなさんの活躍を本当に心強く思います。

また、ふるさと自慢わがまちCMにもダンスで出演してくださいました。残念ながら賞の獲得はできませんでしたが、私もみなさんと一緒に踊らせていただき、楽しくCMを撮れたこともとても大切な思い出です。



これらは、子ども会議委員のみなさん1人1人の活躍はもちろんですが、今日来ていただいたサポーターのみなさん、保護者のみなさんのお力添えや支えがあつてできたことです。感謝の思いを込めて、今日活動報告に臨んでもらえればと思います。

最後になりますが、子ども会議においてみなさんとともにたくさんの意見交換をしたことを本当にうれしく思います。7年前にお会いしたときの活動も素晴らしいものでしたが、議場でのフォーラム開催、オンラインでの他都市交流と、7年間をかけて子ども会議はすごく進化したと思います。

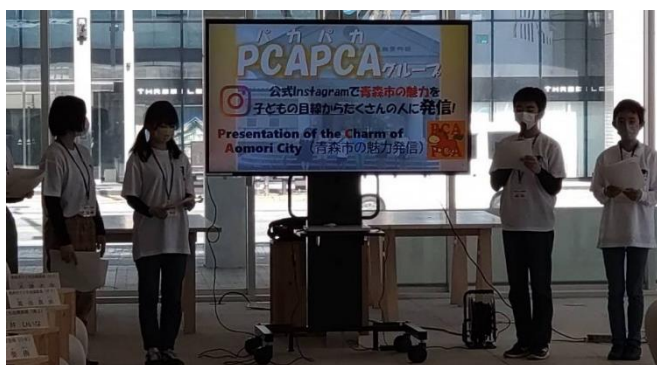
私も新たな舞台へ飛び出しますが、これからも青森をみんなと一緒に盛り上げていく立場は変わりません。これからもみなさんの活躍を心から祈っています。このあとの1年間の活動報告楽しく聞かせていただきますので、どうぞ今日はよろしくお祈りします。

令和4年度青森市子ども会議活動報告

私たち子ども会議は、委員24名と子どもサポーター7名で活動をスタートしましたが、今年度開催したイベントをきっかけにメンバーが2名増え、現在は26名の委員と7名の子どもサポーターの合計33名で、「青森市の〇〇をはっしん！」をテーマに、2つのグループに分かれて活動をしてきました。

パカパカグループは、青森市の魅力あふれる場所や施設を、子どもの目線で、今年新たに作成した馬のキャラクター「パカパカ」を活用しながらInstagramで発信しました。

イベントエンジョイチームは、「参加する子どもたちもみんな一緒に“じゃわめぐ青森市”に向かって発進したい！」という考えの



もと、「第一歩を踏み出すきっかけとなるイベント」を自分たちの手で企画・運営しました。10月にはスポーツイベント、2月には子どもの権利に関するトークイベントを開催しました。

11月20日の青森市子どもの権利の日には、「青森市子ども会議フォーラム2022」を開催しました。フォーラムで私たちが提案した内容を聞いてくれるだけでなく、実際に青森市のまちづくりに反映してくれたことが、とても嬉しかったです。私たちの意見提案を真摯に受け止めてくださり、ありがとうございます。

このほか、子ども会議では、川崎市のYTK（横丁を楽しくしよう会）や豊田市子ども会議とオンライン交流会を開催し、子どもの権利をテーマにした意見交換やお互いの活動の紹介をしたほか、「子どもの権利条約フォーラム2022in那覇」にもオンラインで参加しました。

このように、今年度の子ども会議では、Instagramを使った情報発信や2回のイベントの開催に、オンラインを活用した他都市との交流など、「じゃわめぐ青森市」に向かってたくさんの「はっしん」ができました。来年も、子ども会議の活動を通して意見提案をしたり、子どもの権利の普及を通じて、青森市を盛り上げる活動ができるよう頑張りたいと思います。

令和4年度青森市子ども会議活動報告書の提出

発表が終わった後、「今年度、私たちが楽しく活動できたのも、小野寺市長をはじめ、みなさんのご協力をいただいたからです。ありがとうございました。」との言葉を添え、活動報告書を市長に手渡しました。あわせて、今年度作成した子どもの権利普及啓発トートバックと、サプライズとして小中学生委員がデザインしたしおりや子ども会議の記念アルバムもプレゼントしました。



卒業委員から後輩委員へのメッセージ

- ・子ども会議では普段の学校生活では経験できないことをたくさんすることができました。また、子ども会議で経験したことが、実際の学校生活で活かされることもいっぱいあります。これからの子ども会議を頑張っていってほしいです。
- ・子ども会議の3年間の活動の中で、私自身も知らない青森市の魅力を知ったり、他の人たちとたくさん関わることで自分以外の視点からものごとを見ることができ、とても良い経験になりました。子ども会議の活動は、これからの学生生活、就職してからの社会人生活でも役立つと思うので、後輩委員のみなさんはこれからも頑張ってください。
- ・部活を引退してから子ども会議に入り、まだ1年も経っていませんが、この数か月の間でも子どもである私たちの意見が取り入れられていくことへの喜びを感じながら活動することができました。一緒に活動してきたメンバーは元気が良く明るい人達ばかりなので、毎回の活動がすごくおもしろかったです。みんなには、これからも青森市をよりよくするために頑張っていってほしいです。



後輩委員から卒業委員への感謝の言葉

- ・パソコンの使い方を丁寧に教えてもらったり、普段の活動でも支えてもらったり、すごく楽しいことばかりでした。これからは、自分が卒業委員の分も積極的にパソコンを頑張りたいと思います。卒業委員とサポーターのみなさん、この1年間活動を支えていただきありがとうございました。
- ・卒業委員やサポーターのみなさんがいつも私たちをリードし、優しく支えてくださったおかげで楽しく活動することができました。心強く、安心できる先輩方が卒業してしまいましたが、今までの子ども会議がつないできた学校や学年の垣根を越えて交流し、貴重な経験がたくさんできるところや、みんなが意見を言いやすかったり、しっかり聞いて、いろいろな考えを大切にできる雰囲気を保ち続けられるように精一杯努力します。新生活で不安は絶えないと思いますが、皆さんらしさを忘れず頑張ってください。青森市から応援しています。今まで本当にありがとうございました。

市長からの感想

みなさん活動報告本当にありがとうございました。短い時間の中にも本当に圧縮された活動が伝わる発表でした。

卒業委員からのメッセージで、この子ども会議では、学校ではできない、Instagramでの投稿やイベントの企画など、社会に出たらやらなければならないことをいっぱいやっている、と伝えてくれたほか、子ども会議の取組が、青森市の取組に反映されていることがとても嬉しかったと言ってきて感動しました。本当にありがとうございました。

私自身が一番こだわってきたのは、子ども会議のみなさんからいただいた意見を聞きっぱなし・言いつぱなしではなく、できたこともできなかったことも、必ず次の年に「こうやったよ」ときちんとお返しすることです。卒業委員がそこに触れてくれてとても嬉しかったです。これからも子ども会議はまだまだ続いていくと信じています。青森で育ったみんなだから考えられたこと、考えてくれたことについてお互いに意見を取り交わし、これからの青森市のまちづくりに反映されていくことがとても大事な経験だと、社会に出て気づいてくれると信じています。

僕もこれからも青森市子ども会議を応援し続けます。みなさんも、これから参加するかたや支えてくださっているかたと一緒に青森市子ども会議をこれからも大切にしてもらえれば、とても嬉しいです。素晴らしい内容を発表してくれたことに感謝して、お礼の言葉にしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。



今年度の活動を振り返って

活動報告会を終え会議室に戻り、みんなで今年度の活動を振り返りました。卒業委員へ感謝の気持ちをこめたプレゼントも渡し喜んでもらったところで、令和4年度の子どもの会議の活動はすべて終了しました。

みなさん1年間お疲れさまでした。

